

平成28年9月23日

ALIC/USMEF 定期情報交換会議の概要について

独立行政法人農畜産業振興機構

このたび、独立行政法人農畜産業振興機構（ALIC）は、米国食肉輸出連合会（USMEF）と定期情報交換会議を開催しました。

本会議は、日本、米国の食肉の需給状況等について意見交換を行う場として、両国において原則として毎年度交互に開催しており、今回で通算30回目となります。

記

1 日時：平成28年9月15日（木）午前9時15分～12時45分

2 場所：米国・デンバー

3 参加者

ALIC

宮坂理事長、小林総括理事ほか

USMEF

フィリップ・M・セング会長、サッド・ライブリー首席副会長ほか

4 会議内容

セング会長と宮坂理事長の挨拶の後、双方から米国及び日本の食肉需給について説明し、意見交換を行った。

<USMEFからの説明概要>

【米国の牛肉】

- ・米国の牛肉生産量について、2015年は前年比2.3%減となったが、2016年は、と畜頭数の増加等から同5.3%増と増加の見込み。2017年も同3.4%増と増加が見込まれる。
- ・牛肉生産量が増加傾向にある中、牛枝肉価格は低下傾向で推移しており、今

後も低水準で推移すると見込まれる。

- ・平均枝肉重量は2016年5月以降、前年同月を下回って推移。肥育牛価格が低下傾向で推移していることから、肥育業者が早期出荷をしていることなどが要因として挙げられる。
- ・USDAによると、2016年の牛肉輸出量は、牛肉生産量の増加等により、前年比9%増と増加が見込まれる。

【米国の豚肉】

- ・米国の豚肉生産量について、2015年は前年比7.2%増とかなりの増加。2016年は同1.6%増、2017年も同2.5%増と増産傾向が継続すると見込まれる。
- ・豚肉生産量が増加傾向にある中、豚枝肉価格は低下傾向で推移しているが、中国向けの輸出需要の増加が価格の下支えをしている。
- ・中西部において、2カ所の大規模豚肉工場が建設予定であり、2017年末までの稼働開始を予定している。
- ・こうした新規の食肉加工場の本格稼働により、2018年の豚肉生産量や輸出量はさらに拡大できると見込まれている。

<ALICからの説明概要>

日本の直近の牛肉および豚肉の需給動向、和牛の輸出戦略等について説明。

お問い合わせ先

調査情報部 玉井、野田

電話 03-3583-9804、9533